



岡村病院
院内報

歩 (あゆみ)

第 41 号

発行 岡村病院
編集 歩(あゆみ)
編集委員会
平成15年 5月 1日

岡村病院 基本理念

私たちは、患者さん本位を第一に考え
高度な専門医療技術をもって
地域社会に貢献することを目指します。



「 八 重 椿 」 高松和永先生 写

今月のことば

チャレンジ・3

CHALLENGE・3

1. 私たちは、いつも「おもいやり」と「積極性」をもって患者さんから愛される病院づくりにチャレンジします！
2. 私たちは、高度な医療技術と専門性をもって、地域社会からより一層信頼される病院づくりにチャレンジします！
3. 私たちは、一人一人が専門家としての自負と責任を持ち、明るく、さわやかで発展的な病院づくりにチャレンジします！

春を楽しむ心

草木は芽を出し、蕾はほころびて伸び伸びと成長する春の季節。

春はまさに万物成長のときと言えるでしょう。

私たちがこんな春を迎えて、大いにこれを楽しみ、大いに成長していかなければならないと思います。春を楽しむ心は、人生を楽しむ心に通じます。長い人生には、ときには不愉快なこともあり、面白くないときもありますが、春を楽しむように人生を楽しむ心があるならば、やがてまた春のそよ風のように、心もやわらいで、生き甲斐も感じられてきます。そして野山の樹々が一年一年と年輪を加えていく如く、お互いの心も、去年よりも今年、今年よりも来年と一年一年成長していくと思うのです。



株式会社の参入による医療危機

院長
岡村 高雄

小泉内閣の構造改革の一つとして医療の市場原理の導入つまり株式会社の参入、特区構想等が議論されている事をご承知の事と思います。しかし、本当に医療に株式会社の参入が良いのでしょうか。市場原理を医療に導入せよと言う立場の人々は、「医療も製品を作ったり、品物を売ったりするのと何も変わらない経済活動である」「株式会社参入により市場原理・競争原理が働き、サービスの質もよくなり、医療の価格も低下する」と主張し、さらに「医者は経営については素人であり、経営のプロが病院を運営することにより、効率的な医療サービスの提供が可能となる」「国民の医療に対する選択肢が広がる」と一見説得力の有るような主張をしています。又、官邸、マスコミ等も医療への株式会社参入に反対をする日本医師会を抵抗勢力、悪者とし、賛成する人々を改革派、善人に色分けし、更に病院経営に株式会社参入を賛成している医療機関もあると説明をしています。確かに病院経営に株式会社の参入を賛成している医療機関も有ることは小生も知っており、小生の友人で日本有数の大きな病院が株式参入に賛成し、特区構想に名乗りを上げています。しかし、この病院の本質は現在赤字の経営状態の建て直しのために株式会社参入に賛成しているのであってマスコミが取り上げているように、医療に対する高邁な精神で参入しようとしているのでは有りません。

「医療も製品を作ったり、品物を売ったりするのと何も変わらない経済活動である」のでしょうか？

もし株式会社の参入を認めれば株式会社の主目的である利益優先が主目的と考えられ、また出資者（株主）に配当を還元することを第一に考え、場合によっては株価をも維持しなければならないために、経営者は常に高利益を上げるためには採算が合わない部門・高賃金の人員を切り捨て、患者さんには高額の請求をして利益を伸ばさなくてはなりません。

医療の第一の目的は利益を上げるのではなく、有る意味では「人の弱みにつけ込んでお金を頂く仕事」です。弁護士、僧侶等と同じく人の「不幸

を生業にする仕事」はその使命を十分に踏まえた倫理観が必要であると考えています。一般の企業でも倫理観が問われ、高い理念に基づいて経営をしている会社もありますが、しかし、企業の最大の目的は基本的に利益を上げることです。医療行為は一般の物を売ったり、お金を貸したりする企業と同じ次元で考えてはいけない仕事と思っています。物を売ったり、買ったりする仕事は場合によって売る、買う側の選択が可能であり、不必要ならば買わなくてもよい、売らなくてもよい場合が存在します。しかし、医療に於いて病気になった場合には治療を受けない、受けるの選択が出現する事自体が問題であり、何人も均一な医療が出来る限り保証される必要があります。その仕事の本質を抜きにして、単に医療をビジネスチャンスとのみ捉える考え方は今後の医療を大きく誤らせると 생각합니다。以上の点で医療は一般の経済活動と異なっていると考えています。

「株式会社参入により市場原理・競争原理が働き、サービスの質もよくなり、医療の価格も低下する」のでしょうか？

日本の医療は世界でも最も進んだ皆保険制度を確立しております。そして、医療に携わる人々の目的はよりよい医療を国民全体に平等に行き渡らせるようにする事です。世界に冠たる日本の長寿社会の確立はこの皆保険制度による医療制度の賜と考えています。株式会社の参入により巨大な資金力に物を言わせて、強引な手法で地域でのシェアを拡大し、競合する病院、診療所を買収し、不必要な部門を切り捨てる病院が出現する可能性が有ります。この様な結果は医療の選択肢を広げるところか、逆に選択肢が狭められ、儲けない医療分野は切り捨てられ、困った時に十分な医療、治療を受けられない事態に成って行きます。

実際に米国の医療制度で既に株式会社の参入により多くの不都合が生じています。米国では医療への株式会社参入によりまず、弱者が排除されています。株式会社の病院にとって裕福な患者さんは優遇をしますが、経済力の乏しい患者さんは排除しています。この結果、裕福な人にとってはサービスの質は良くなりましたが、経済力の乏しい人にとって質は低下しています。また、営利病院

では不必要な検査、手術が横行し大きな社会問題に発展をしております。市場原理に基づいて医療が行われた結果、医療費は逆に上昇の一途を辿っています。

米国で失敗をした株式会社の医療参入をどうして日本で今議論をされているのでしょうか？

その理由の一つは小泉内閣が設立した「総合規制改革会議」にあると考えられます。「総合規制改革会議」は、「ビジネスチャンスの拡大」が規制改革の目的の1つであることを明言しており、医療に関しても、産業界が進出する道を拓くことをその目的とし、医療に参入する事により一儲けをしたい企業の魂胆が見え隠れします。ご承知の如く会議の議長に「病院経営への株式会社参入を認めよ」と以前から強く主張している人物を据える一方で、委員には医療界の人間は1人も入れず、この会議の目的は初めから産業界の意向を一方的に反映させることにあったと言われても仕方はない

構造になっています。医療の本質が議論をされずに金儲けの道具と考えて推進をしている会議は本当に嘆かわしい限りです。

医療の質を良くし、高齢化社会による医療費の増加にどの様に対応するかは医療政策、制度の問題であり、世界に冠たる皆保険制度を維持しつつ、出来るだけ医療費の負担が少なくなるような制度を再構築する事が必要と考えます。医療への株式会社参入が医療の質、国民の選択の拡大、医療費の削減に繋がると言う議論は医療の本質を離れた本末転倒な議論であります。国民の健康に責任を有する指導者は医療の本質に対して十分な識見を持って臨むべきと考え、この度の小泉内閣による株式会社参入による医療への参入に対して強く反対を唱えるものであります。

あなたの血管は大丈夫ですか？

～ 動脈検査の御紹介 ～

臨床検査技師 横田 亜野子

人は“血管から老いる”と言われます。動脈硬化も血管の老化の一つで、脳梗塞や心疾患（狭心症、心筋梗塞など）を引き起こす原因となる閉塞性動脈硬化症（ASO）の患者さんが増加しています。また、その進み方には、食生活や運動不足等の生活習慣が大きく影響します。

当院では、動脈硬化検査の一つとして、血圧脈波検査装置（PWV/ABI-form）という機械を用いた検査を行っています。ASOと検査法について簡単に説明したいと思います。

● 閉塞性動脈硬化症（ASO）

手足の動脈が狭くなったり、詰まったりすることによって起こる血管の病気です。初期症状はしびれ、冷感がほとんどです。進行すると、例えば足の筋肉が締めつけられるような痛みを感じ、歩行困難を生じたり、重症の場合は足を切断することもあります。

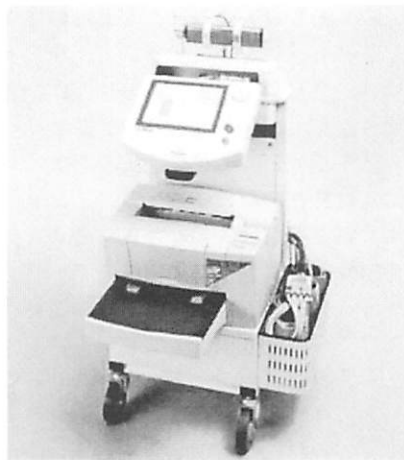
予防：高血圧・糖尿病・高脂血症の予防・禁煙・適度の歩行など。

参考資料：全身血管健康手帳より

● 検査法

実測時間はわずかに5分!!

横になり、同時に測定した四肢の血圧から血管の様子が推測できます。測定時、稀に少し違和感を感じたり、痛みを感じたりする方もおいでますが、ただその間は数十秒ですので、わずかな時間で血管の状態を知ることができると思えば試す価値があるのでは！



フォーム/ABI-form

定期的に動脈硬化検査を受けて血管の健康度を知り、生活習慣を改善することが、動脈硬化の何よりの予防につながります。より楽しい生活を送る為にもこの検査をぜひおすすめします。

レントゲン？エックス線？放射線？

診療放射線技師 黒川 禄代

「レントゲン室」と言えば、洋服を脱いだり着たり、あっち向きこっち向き、息を吸ったり止めたりとなんだか忙しい。バタバタしながら「何でそんなことをするの？」と思っても、撮影が終われば消えてしまっている小さな「？」。いくつかあるのではないのでしょうか。

今日はそれらを少し、紐解いてみたいと思います。

「では、胸のレントゲンを撮ってきて下さい。」
診察室で言われたあなたは「レントゲン室」の前へ。ふと思います。「レントゲン」って…どうしてレントゲンって言うんでしょうか。

レントゲン室、レントゲン写真、レントゲン技師…よく耳にしますが、これらは1895年にX線（エックス線）を発見した、ウイヘルム・コンラッド・レントゲン博士にちなんで俗称です。「放射線」という厳めしい言葉よりも「レントゲン」の方がなんとなくなじみやすかった…という背景があるのかもしれませんが。

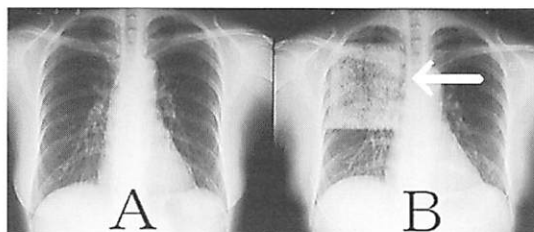
通常の撮影は主にX線を使用している為、正式には「X線写真」と言い（X線やγ線、中性子線などをまとめて「放射線」と呼びこれらは医療の現場でもよく使われます）また、我々放射線を扱う者も正式には「診療放射線技師」と呼ばれます。

そうしているうちにあなたは撮影室内へ。すると声がかかります。

「肌着1枚になってください。カイロや金属のもの、湿布などがありましたら外しておいてください。」
…どうして何枚も着ていたり、カイロを貼ってはいけなんでしょうか？

エックス線を使うと、体内の様子をフィルムに焼き付けることができます。だから骨折や肺炎を見つけれられるのですが、カイロや湿布を貼っていた場合、それもそのまま写りこんでしまいます。セーターの編み模様なども同じです。もしそれらの影が診たい部分に重なっていたら…本当は骨折しているのに見えなかったり、小さな病変を見逃したり、反対に病気ではないのに病気と診断されるかもしれません。また、着ぶくれしているよりも肌着一枚のほうが姿勢や位置を正しくしやすく、

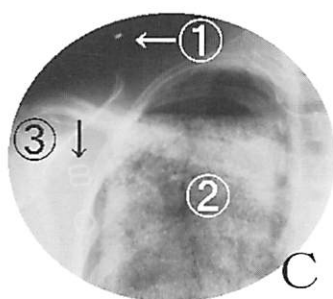
より診断しやすい写真を撮ることができるのです。



胸部写真

Aは肌着一枚で撮影したもの。

Bはカイロを貼ったまま（←の部分）撮影したもの



障害陰影（図Bを拡大したもの）

① ビップエレキバン ②カイロ ③下着（ブラジャーの金具）

言われたとおり肌着になったあなた、位置あわせが終わるとまた声がかかります。

「撮影します。息を吸って、止めて下さい。」

X線写真も「写真」というくらいですから、やはり動くものはブレて写ります。

X線が出る時間はほんのわずか（例えば、胸部写真1枚につき0.016秒など）です。

しかし、息を止めることによって呼吸の度に動いていた横隔膜などの体の動きも止まり、ピントのあった写真を撮ることができるのです。

病院での放射線検査には、まだまだいろんな「？」が隠れているかと思います。

そんなときはどうか気軽に声をかけていただいて、不安を解消していただければ幸いです。

ゲンちゃんの春

経理課 松岡万里

花の季節となり、何となく心も軽やかです。野良犬ゲン助かった 高知新聞より嬉しいニュースです。子犬の時捨てられ、そのまま成長した為、首輪が首に食込み傷が悪化。心配した市民30人が保護の為、早朝5時30分より待機。6時過ぎ捕獲。首輪が切られたのです。野良犬を救助する事は、損得勘定で計算すれば、まわりの人間にとって何の益もありません。しかし、命あるものを助けたい、

生かしたいと願うのは、神様と同じ愛、無償の愛が人間一人一人の上にも与えられているからでしょう。安心したようなゲンの写真を見て、よかったね。やっと自由になって、傷が早く癒され、優しい飼い主と出会い、幸いな生涯を送ってほしいと思いました。

安芸市の野良犬ゲンちゃんにも今年は本当の春がやって来ました。

この一年間を振り返って思うこと

外来准看護師 久保智子

私は、昨年看護学校を卒業して4月より岡村病院外来に准看護師として勤務しています。私は今、言葉遣いや人との接し方について考えることがよくあります。周囲の人達と上手くコミュニケーションをとるためにどうすればよいのでしょうか。私の不適切な言葉遣いで患者様に不快な思いをさせているのではないのでしょうか。

学生の頃より自分でも言葉遣いが悪いと思った

りしたこともありましたが特に言われることも少なかったのものでそれほど気にしていませんでした。また、元来の性格がマイペースで、周囲に気を配れないときもあります。

これからは、いろんな本を読んで知識を深め、又、先輩看護師の患者様に対する接し方を見習いながら周囲の人達と良い人間関係を築き、患者様からも信頼される人間になりたいと思います。

1年後の私

4F看護師 氏原宏子

私が専門学校を卒業して1年がたちました。と、いうことは働きだして1年がたつということです。私は何もわからないまま就職し、働きだしました。

1年前を思い出して思うことは、まだまだ学生気分のまま病院に毎日来ていたな、ということです。今もまだまだわからないことだらけで、毎日いっぱいいっぱい働いています。

この前、無職の友達に「働きだして1年たつけど何か変わった？」と聞かれました。その人はまだ社会にでたことがなく、自分の将来に対し、不安をもっているみたいでした。私はその友達に何と聞いていいかわからなくて、すごく考えてしまいました。「私はこの1年で何か変わったのだろうか？」

1つだけその問いに答えることができたのは、「自分の中でなりたい理想像ができたこと」でした。学生のとき、「理想の看護師像は？」と、先生に聞かれたことがありました。私はそれに対し、答えができていませんでした。今では、漠然とですが、自分の理想像があります。この1年でやっと目標ができてきて、やっとそれにむかっていこうとしているところです。1年でこのペースなら、たぶんかなり時間がかかると思います。

1年後の私は、もう少し理想像に近づいているはずです。そして、1年後に同じ「この1年で変わったことは？」と聞かれたとき、もう少し答えられるようになっていっていると思います。

うどん



私は、うどんはそう好きではない。(そうめんは大好き)

あれは大の男が食するものではないと思っていた。ところが、ある時、香川県で讃岐うどんを食べた私の考えは変わった。

とにかく美味い！そして安い！こんな値段でこんなおいしいものを食べさせてもらっているのかと思ったぐらいである。

また、バラエティに富んでいる。セルフの店に行くと、うどん玉に赤ん坊の顔ぐらいある天ぷらをつけても300円でお釣りがくる。

また、あるセルフの店では「かま、たま、あつ

の小」なんて注文する。これは、訳すると「卵入り釜揚げうどんの熱いの、うどんは一玉」という意味らしい。ネギとしょうゆは自分でかける。

面白いのは、ある店で、名物うどん(名称は忘れた)を注文すると、先に大きな大根と大根おろし器が出る。うどん玉に、自分でおろした大根と切りごま、ネギをのっけてしょうゆをかけて食べる。

うどんでこんなに楽しめるとは…。

ところで、同じ四国なのに、高知のうどんは何であんなにまずいんだろう。第一、高知のスーパーで売っているうどんは形が丸い、そしてまずい。

香川に行ってうどんが四角であることを初めて知った。

高知にもおいしくて安いうどん屋ができることを期待している。

● 常勤医師紹介 ●



西村 哲也 先生
心臓血管外科医長に就任
徳島県出身
徳島医科大学医学部 卒
趣味：ドライブ

● 非常勤医師紹介 ●

- ・松尾 光胤 先生 (整形外科)
毎週火曜日午後に来られています。
- ・秋澤 直明 先生 (内科)
毎週水曜日午前に来られています。
- ・宮地 永輝 先生 (内科)
毎週木曜日午前に来られています。

※3名共高知医大より

● ニューフェイス ●



藤原 舞 さん
看護師 (平成15年国家試験合格)
香川西高等学校衛生看護専攻科 卒
趣味：スポーツ



尾崎 三枝子 さん
看護助手
趣味：映画・登山・旅行



秋山 末子 さん
看護師 (平成15年国家試験合格)
土佐看護専門学校看護学科 卒
趣味：手芸



弘田 末子 さん
看護助手
趣味：カラオケ



小松 里美 さん
看護師 (平成15年国家試験合格)
県立総合看護専門学校第一看護学科 卒
趣味：音楽鑑賞

よろしく
お願いします。

